

このたびは、河村の「小型警報盤」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

**安全上のご注意**

据え付け、使用、保守、点検の前に必ずこの施工説明書をお読みいただき、製品の知識、安全の情報・その他の注意事項について充分ご理解いただき、正しくご使用ください。また、この施工説明書はお手元に大切に保管してください。

この施工説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

**危険** 取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

**注意** 取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

**施工前に** 丁寧に開梱し、次の点をお確かめください。

- (1) 仕様をご要求のものとは一致しているかを銘板によりお確かめください。
- (2) 輸送中の事故などにより、製品が破損していないかをお確かめください。
- (3) 開梱した時、水濡れがないことを確認された後に、ご使用ください。

**施工上の注意**

**危険**

- (1) 本製品の故障により、人命や社会環境に重大な影響を及ぼすような機器（医療機器、重要施設等）には使用しないでください。
- (2) 通電状態での結線作業はおやめください。短絡による故障、焼損、火災または接触による感電、火傷の原因となります。
- (3) 結線は有資格者が行ってください。それ以外の方の工事は法律で禁止されています。
- (4) 通電時はカバーを外さないでください。感電の恐れがあります。

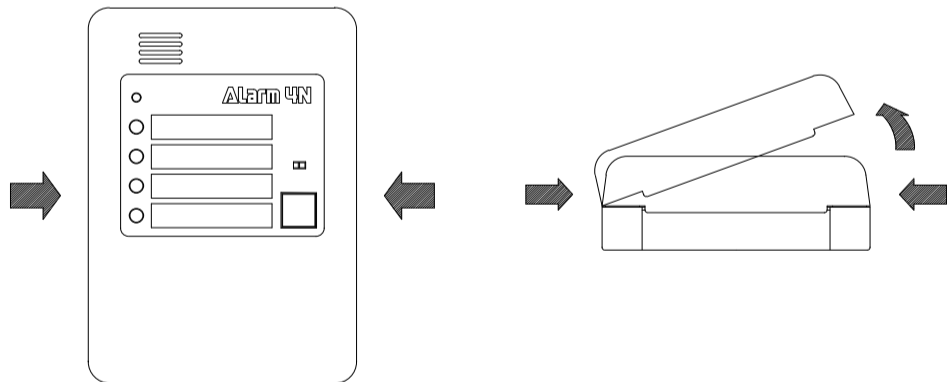
**注意**

- (1) 本製品の故障により使用者の財産に損害を与える危険性がある設備（冷蔵庫、養殖設備等）に使用する場合は、特性上十分に余裕を持った設置を行うとともに、2重の安全回路を組んでください。
- (2) 次のような場所へは取り付けしないでください。誤動作・寿命低下につながります。
  - ① 周囲温度が-10℃～40℃の範囲を超える場所
  - ② 湿気が多い場所
  - ③ 振動、衝撃、磁気が強い場所
  - ④ 油、水滴、雨、日光が直接あたる場所
  - ⑤ 埃、粉塵、塩分、油煙、腐食性ガスが多い場所
- (3) 施工時にゴミ、コンクリート粉、鉄粉などの異物が製品内部に入らないようにして下さい。
- (4) 端子台のねじの締め付けは確実に行なってください。発熱、故障の原因となります。
- (5) 端子台以外のねじは外さないでください。故障の原因となります。
- (6) 施工後は必ずカバーを取り付けてください。
- (7) 定格電圧でお使いください。
- (8) 一括警報出力の接点は容量以内でお使いください。[AC250V 1A (抵抗負荷)]

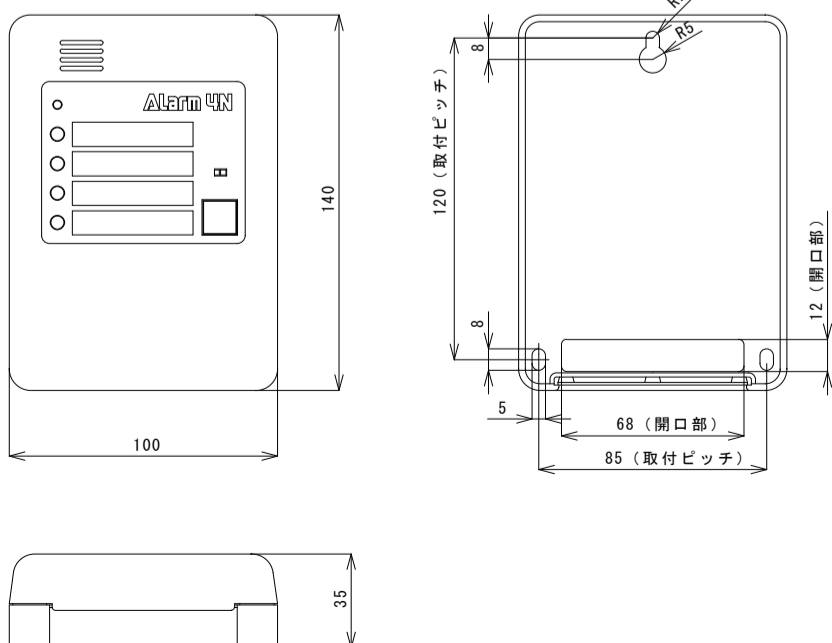
**カバーの開け方**

カバーの両側中央部を押さえながら、片側を手前に持ち上げてください

注意：ドライバーなどで無理にこじ開けると製品を傷めますのでお止め下さい。



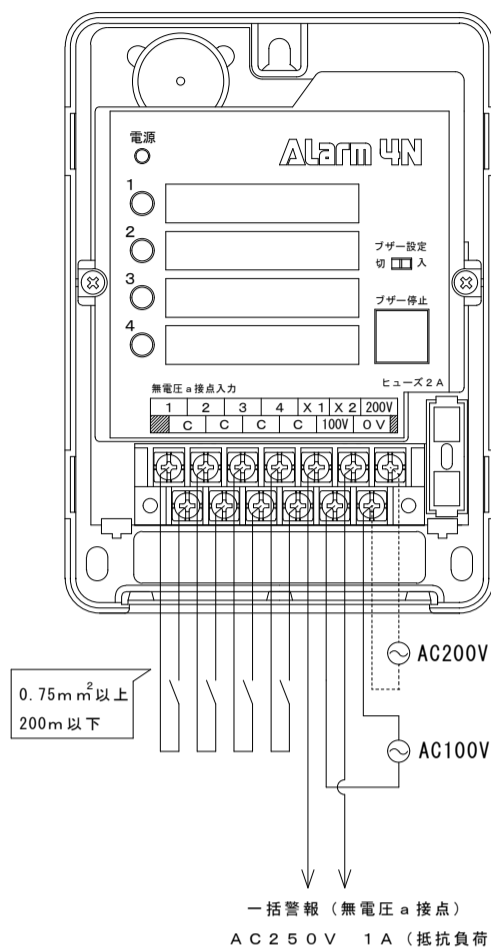
**外形寸法 (全品種同一)**



**結線方法及び注意事項**

無電圧入カタイプ (ARM□N)

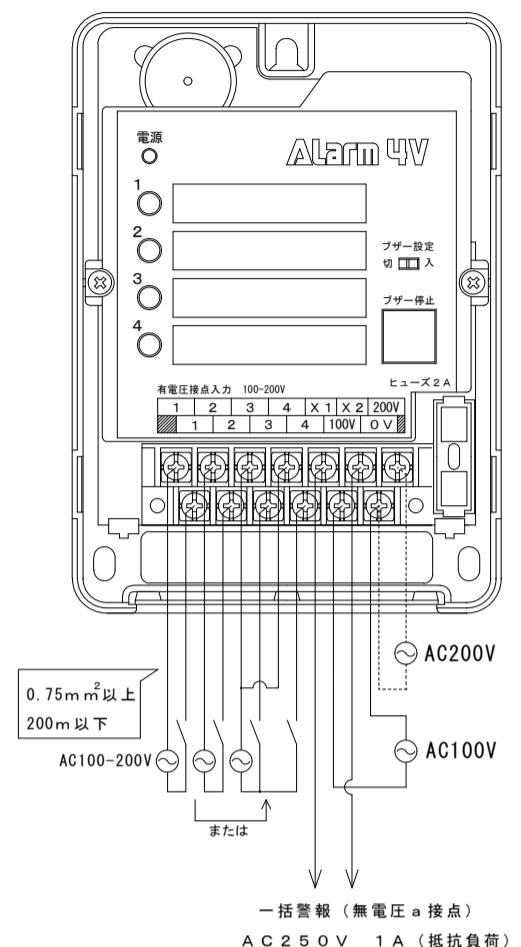
[下図はARM4N]



- ・電源端子は間違えないようにして下さい。
- ・C端子は内部で共通になっています。
- ・警報入力端子にはDC20V程度の電圧がかかります。
- ・無電圧入力に電圧を印加すると焼損します。

有電圧入カタイプ (ARM□V)

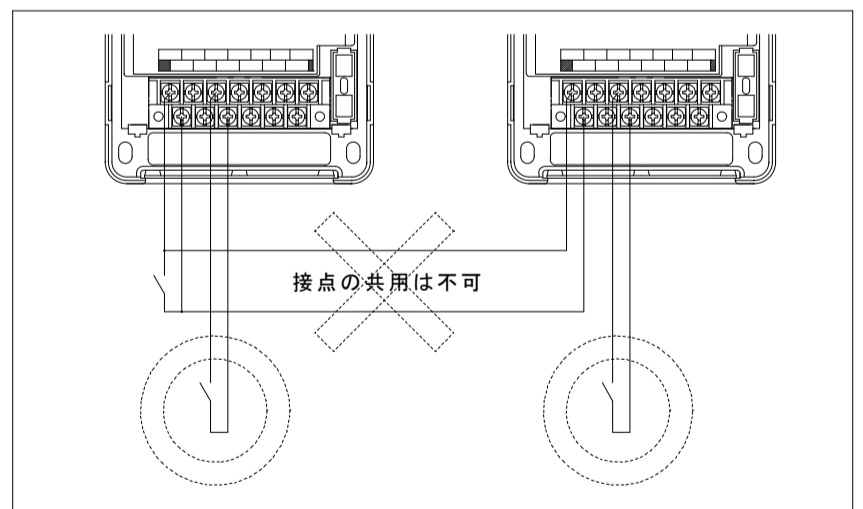
[下図はARM4V]



- ・電源端子は間違えないようにして下さい。

**配線上の注意事項**

1. どの機種も電源電圧AC100Vで使用する場合は200V端子に、AC200Vで使用する場合は100V端子に電圧がでますのでご注意ください。
2. 警報入力に使用する電線は、太さ0.75mm<sup>2</sup>以上で長さは200m以下としてください。
3. 信号線は電力線との同一配管を避けてください。誤動作の原因となります。
4. 電源端子間、警報入力端子間、一括警報端子間の絶縁抵抗測定はお止めください。
5. ノイズの多い場所で使用される場合は、クラブフィルタやノイズフィルタをご利用ください。
6. 本機を2台以上ご使用になる場合、1つの接点を共用しないでください。この場合、必ず別々の接点をお使い下さい。(下図)



**施工工事業者様へのお願い**

施工終了後は下記の連絡先にご記入後、この取扱説明書を需要家様へお渡しください。

連絡先	
施工工事業者名	施工年月日
	年 月 日
	TEL / ( )

点検記録			
年月日	結果	年月日	結果
・	・	・	・
・	・	・	・

# 小型警報盤取扱説明書



このたびは、河村の「小型警報盤」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、製品の知識・安全の情報・その他の注意事項を充分ご理解いただき、正しくご使用ください。  
また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。  
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

- 危険** 取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
  - 注意** 取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。
- なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

## 使用上の注意

### 危険

- 本製品の故障により、人命や社会環境に重大な影響を及ぼすような機器（医療機器、重要施設等）には使用しないでください。
- 通電状態での結線作業はおやめください。短絡による故障、焼損、火災または接触による感電、火傷の原因となります。
- 結線は有資格者が行ってください。それ以外の方の工事は法律で禁止されています。
- 通電時はカバーを外さないでください。感電の恐れがあります。

### 注意

- 本製品の故障により使用者の財産に損害を与える危険性がある設備（冷蔵庫、養殖設備等）に使用する場合は、特性上十分に余裕を持った設置を行うとともに、2重の安全回路を組んでください。
- 電源、警報入力、一括警報出力端子間の絶縁抵抗測定は行わないでください。
- 保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。

## 保守・点検上の注意

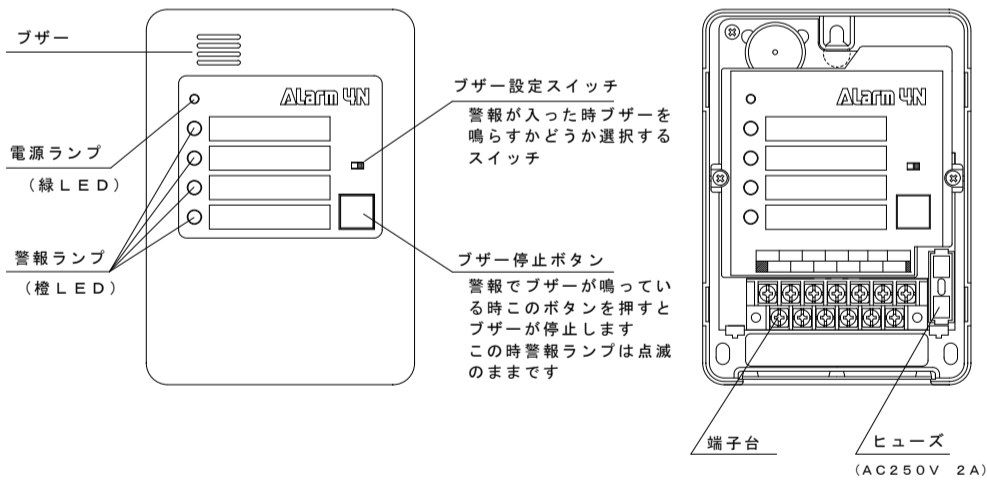
### 危険

- 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 異常（発熱、におい、煙など）がありましたら直ちに使用を中止し、施工工事業者へ連絡して点検をしてください。

### 注意

- 清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどは製品を傷めますので使用しないでください。
- 端子台のねじは定期的にし締めを行なってください。なお、し締めは電気工事業者などの有資格者により正しく実施してください。

## 各部の名称と機能



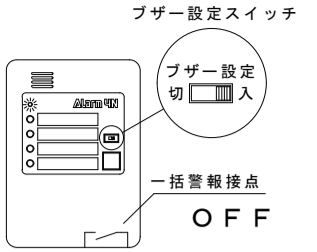
## 定格・仕様

品番	ARM1N	ARM2N	ARM4N	ARM1V	ARM2V	ARM4V
電源電圧	AC100V-200V (端子切替式)					
電源周波数	50/60Hz					
警報回路数	1	2	4	1	2	4
警報信号入力	無電圧 a 接点			有電圧 (AC100-200V)		
消費電力	3W (ARM4N 全警報時)					
ブザー音圧	75dB/m以上					
一括警報接点	AC250V 1A (抵抗負荷)					
ヒューズ容量	AC250V 2A					
重量	330g	335g	340g	335g	340g	345g

## 動作説明 (ブザー設定スイッチが「入」の場合)

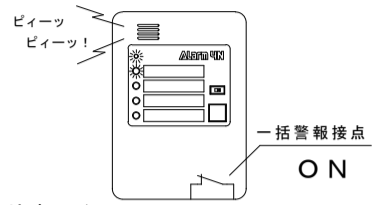
- 電源を入れると電源ランプが点灯します。

一括警報接点：OFF



- 警報が入ると該当する警報ランプが点滅し、ブザーが鳴動します。

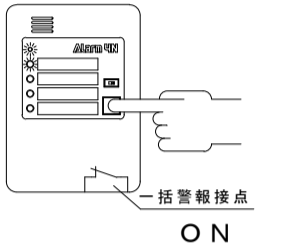
一括警報接点：ON



※ブザー設定スイッチが切の場合ブザーは鳴りません

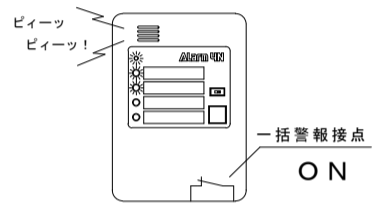
- ブザー停止ボタンを押すと、ブザーが停止します。警報ランプは点滅のままです。

一括警報接点：ONのまま



- 別回路に警報が入ると該当する警報ランプが点滅し、再度ブザーが鳴動します。(後追い警報機能)

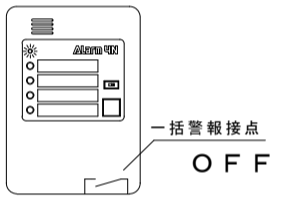
一括警報接点：ONのまま



※ブザー設定スイッチが切の場合ブザーは鳴りません

- 全ての警報がなくなると警報ランプが消え、ブザーが停止します。

一括警報接点：OFF



## 故障診断と処置

状態	原因	処置
電源ランプが点灯しない	電源がきていない	電源の通電を確認して下さい
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換して下さい
ブザーが鳴らない	ブザー設定スイッチが切になっている	ブザー設定スイッチを入にして確認して下さい
警報が入っても動作しない	信号線が外れている	信号線を確認して下さい
	端子ねじがゆるんでいる	端子ねじを増締めして下さい
	有電圧タイプに無電圧接点を入力している	有電圧入力を入れて下さい
	無電圧タイプに有電圧を入力している	故障している可能性がありますので、お問い合わせ下さい
警報が入っていないのに動作する	液面リレーの電極棒を直接入力している	電極棒は直接入力できません入力方法を見直して下さい
	信号線が他の線と混触している	信号配線を確認して下さい
	信号線と電源線が同一配管されている	信号線を電源線から離して配線して下さい
	ノイズ環境の悪い場所に設置されている	信号線にクランプフィルターをつけて下さい 信号線をシールド線にして、シールド線の片側をアースに接続して下さい

これらの処置をしても改善されない場合は、お問い合わせ下さい。

# 河村電器産業株式会社

●お問い合わせ先  
技術相談専用テレホンサービス / TEL (0561) 86-8171  
(承り時間は土・日・祝祭日・年末年始を除く AM9:00~PM5:00です)  
本 社 / 愛知県瀬戸市曉町3-86 〒489-8611 TEL (0561) 86-8111

●弊社営業所在地は、インターネットのホームページでご確認ください

<http://www.kawamura.co.jp>